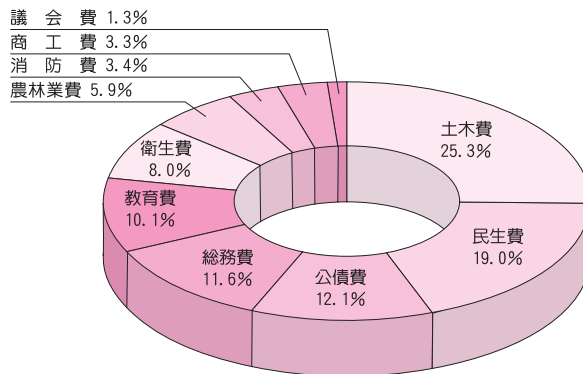


平成14年度一般会計（歳出）					
科	目	決算額	増減率(%)		
議	会	費	2億919万円 △8.3		
総	務	費	19億722万円 △14.0		
民	生	費	31億937万円 △19.7		
衛	生	費	13億1,451万円 4.7		
農	林	業	費	9億5,920万円 4.9	
商	工	費	5億4,606万円 1.9		
土	木	費	41億3,984万円 △12.6		
消	防	費	5億5,579万円 4.4		
教	育	費	16億6,321万円 16.2		
災	害	復	旧	費	134万円 皆増
公	債	費	19億8,384万円 14.1		
計		163億8,957万円	△6.1		

## 一般会計歳出



## 市民一人当たりの使い道

<p>議会費 4,082円</p>	<p>総務費 37,218円</p>
<p>民生費 60,678円</p>	<p>衛生費 25,652円</p>
<p>農林業費 18,718円</p>	<p>商工費 10,656円</p>
<p>土木費 80,787円</p>	<p>消防費 10,846円</p>
<p>教育費 32,457円</p>	<p>公債費 38,714円</p>

## 市民一人当たりの歳出は319,834円

### ■歳出の主な内容

- **総務費**：対前年度で3億1,114万円の減。財政調整基金積立金の減(対前年度比較で3億30万円)と、地域イントラネット基盤整備事業の減(対前年度比較で2億11万円)などが主な要因。
- **民生費**：対前年度で7億6,056万円の減。国民年金事務が社会保険庁で行うことになり、印紙購入分の皆減(7億5,673万円)と、保育園改修事業の減(対前年度比較で7,122万円)などが主な要因。
- **土木費**：対前年度で5億9,711万円の減。正理インター線建設事業の減(対前年度比較で3億9,170万円)などが主な要因。
- **教育費**：対前年度で2億3,127万円の増。西中屋体・東中学校耐震補強工事の増(対前年度比較で2億1,358万円)などが主な要因。
- **災害復旧費**：伊深町大洞地内で発生した、豪雨災害の復旧費。
- **公債費**：対前年度で2億4,503万円の増。繰上償還による増(対前年度比較で1億4,313万円)などが主な要因。

※市民一人当たりの金額は、平成15年3月31日現在の人口、51,244人で計算してあります。